



九州産業大学 造形短期大学部 近藤真生

Product Design

最近、あまりの忙しさに食事を疎かにしていませんか。

日頃の食生活をより豊かにするためのプロダクト「お弁当箱」の提案です。

日本の四季を感じることができる「桜」と「紅葉」の2種類の形を考案。どちらも古くからある藍胎漆器のデザインを用いました。

「研ぎ出し」という製法で、職人の方が研石を使い、一つ一つ手作業で柄を生み出しています。

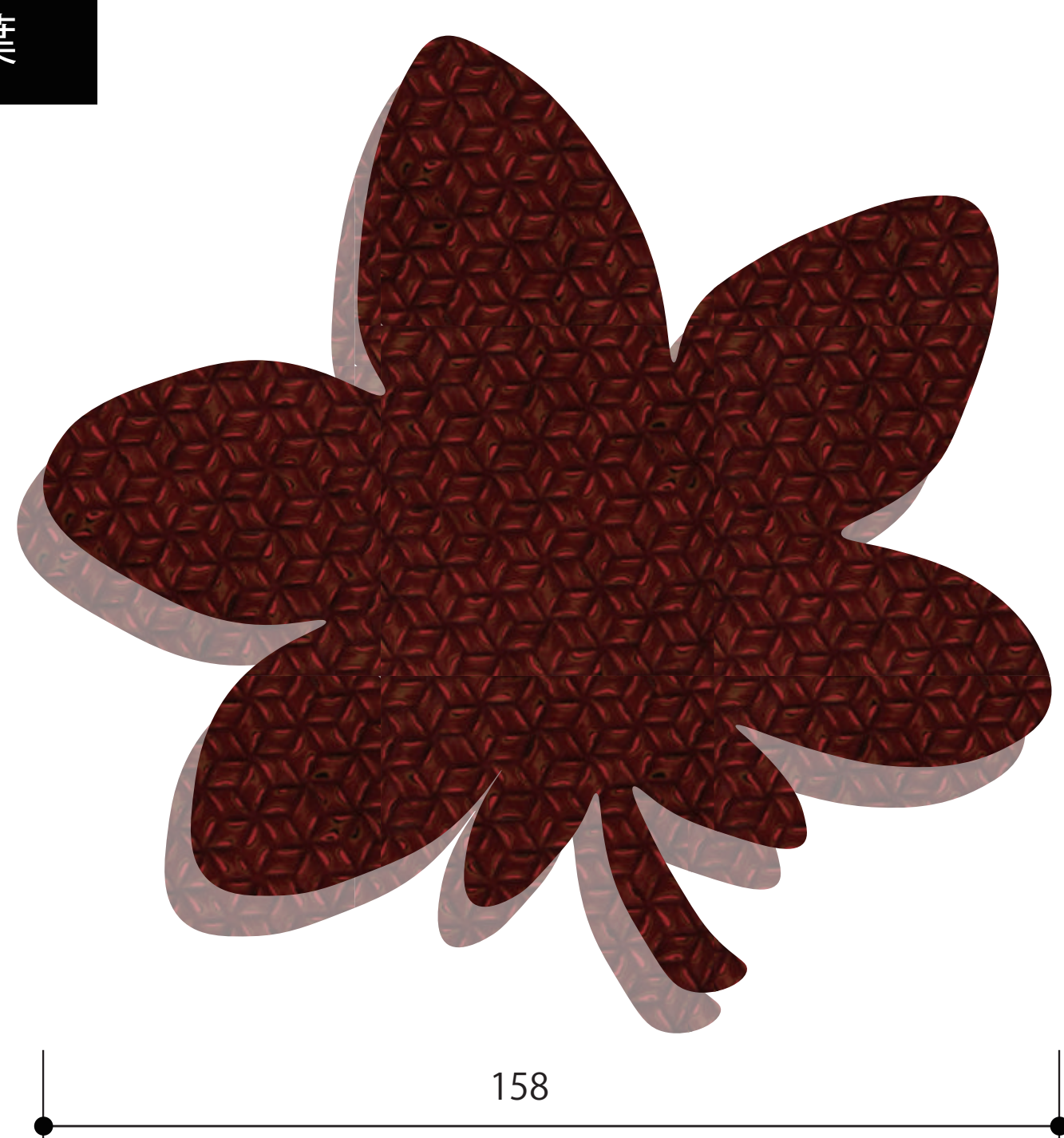
一般的なお弁当箱と形が異なるため、非日常のような感覚が味わえます。また仕切りが多いので、様々なおかずを詰めるのに便利です。

栄養バランスを考えながら詰めていきましょう。

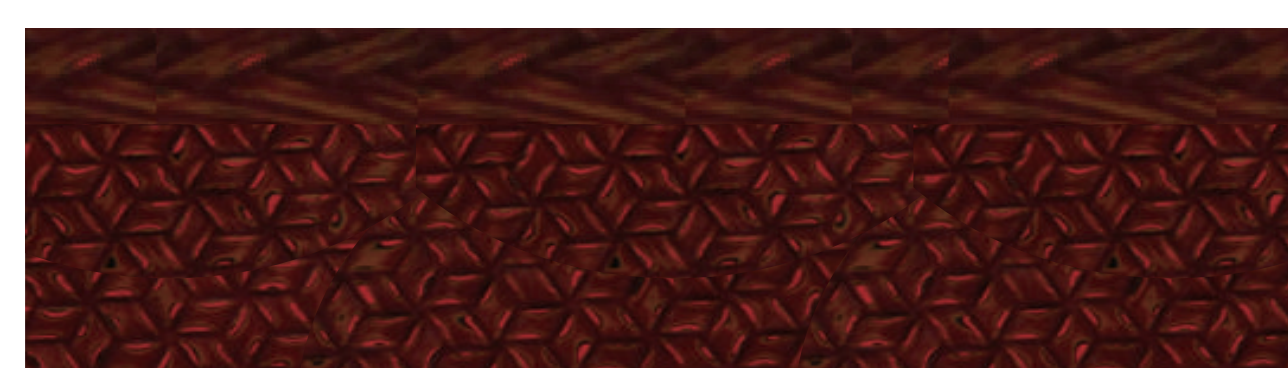
これ一つ持っていれば、カップラーメンだけで済ませていた食事をやめなくなり、健康的な食事を採る習慣が身につく“かも”かもしれません。

藍胎漆器でできた素敵なお弁当箱と一緒に、食事にゆとりを取り戻してみませんか。

紅葉



上面図：NOSCALE

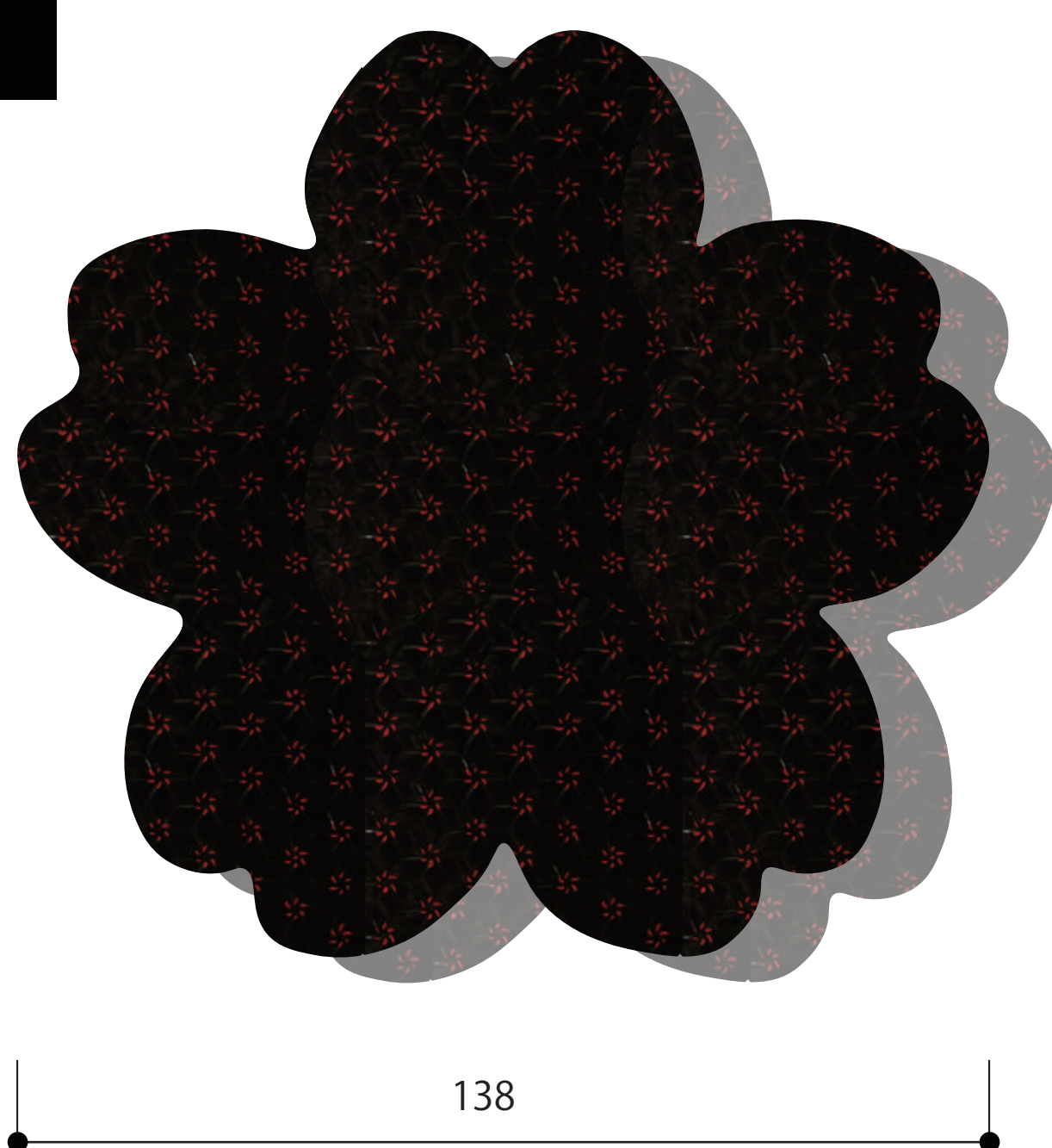


側面図：NOSCALE

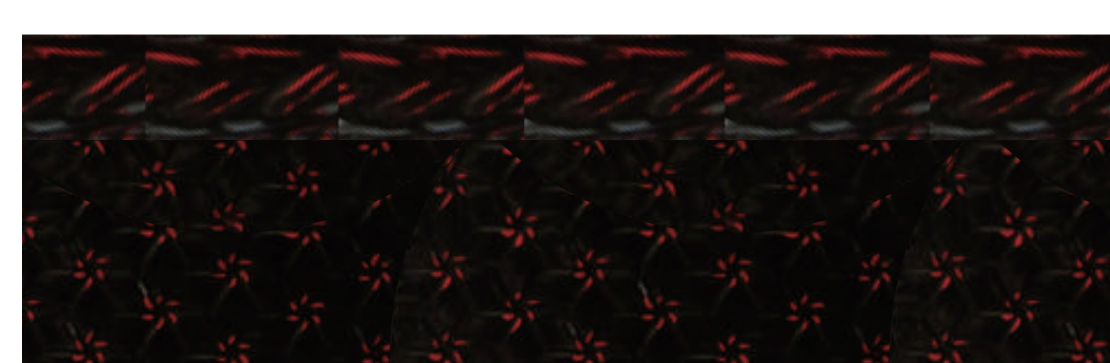


使用イメージ

桜



上面図：NOSCALE



側面図：NOSCALE



使用イメージ